

2025年12月期第1四半期

決算説明資料



ibokin

2025年12月期第1四半期業績について……………	2
2025年12月期 通期業績予想について……………	9
株主還元……………	11
今後の事業展開……………	13
APPENDIX……………	17

2025年12月期第1四半期 業績について

売上高2,467百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益291百万円（前年同期比56.3%増）

解体事業

- ◆ 大規模施設解体工事等の大型案件が好調で増収・増益
- ◆ 引き続き大型案件の受注残あり

環境事業

- ◆ 産業廃棄物の処理受託はスポット取引により増加、再生資源販売での非鉄の取扱い増および相場の上昇により、増収・増益

金属事業

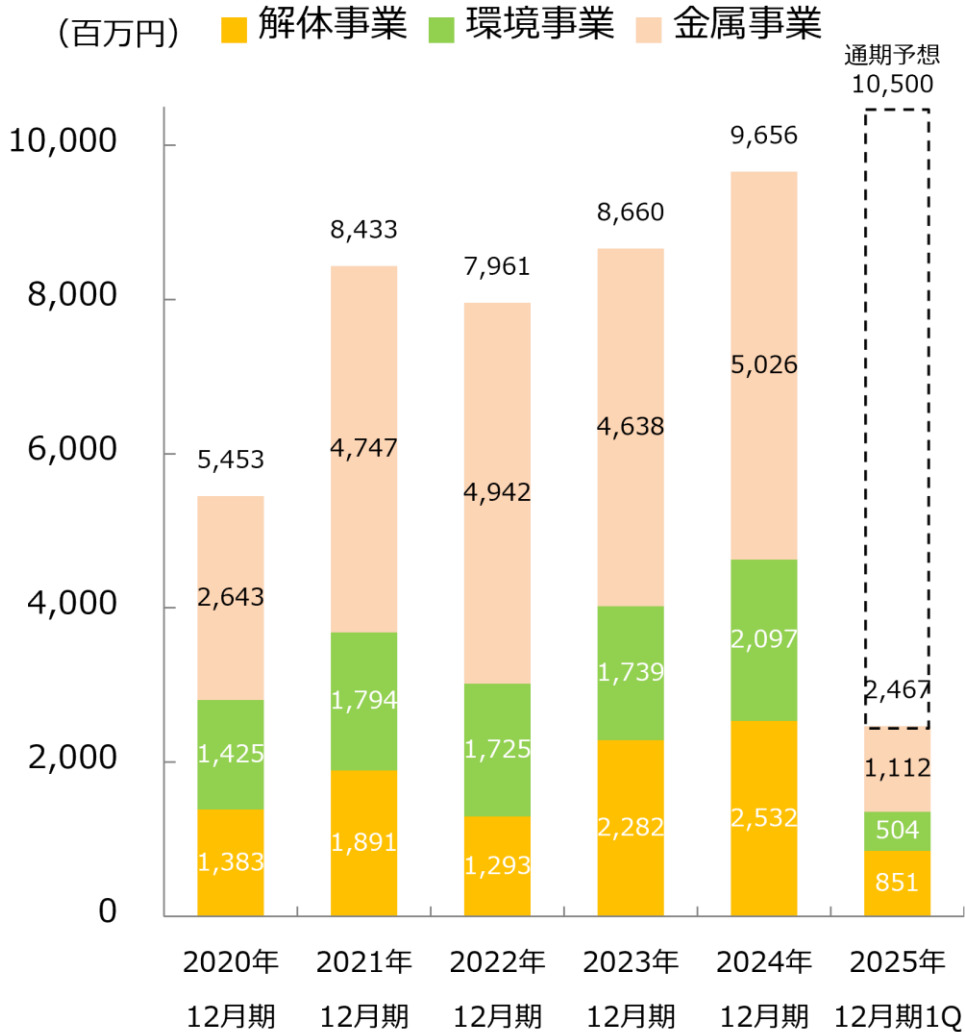
- ◆ 鉄スクラップ価格が前期より低い水準で推移したことにより減収
- ◆ 近隣の大型解体工事から発生する老廃スクラップの加工、および非鉄金属相場の上昇により増益

- ◆ 鉄スクラップ相場は前年同期から概ね10%低い水準にて著増減無く推移
- ◆ 銅など非鉄金属の相場は上昇基調し、スクラップや再生資源販売が好調
- ◆ 売上高は微増に留まるが、解体由来のスクラップ加工等利益確保に努め大幅増益

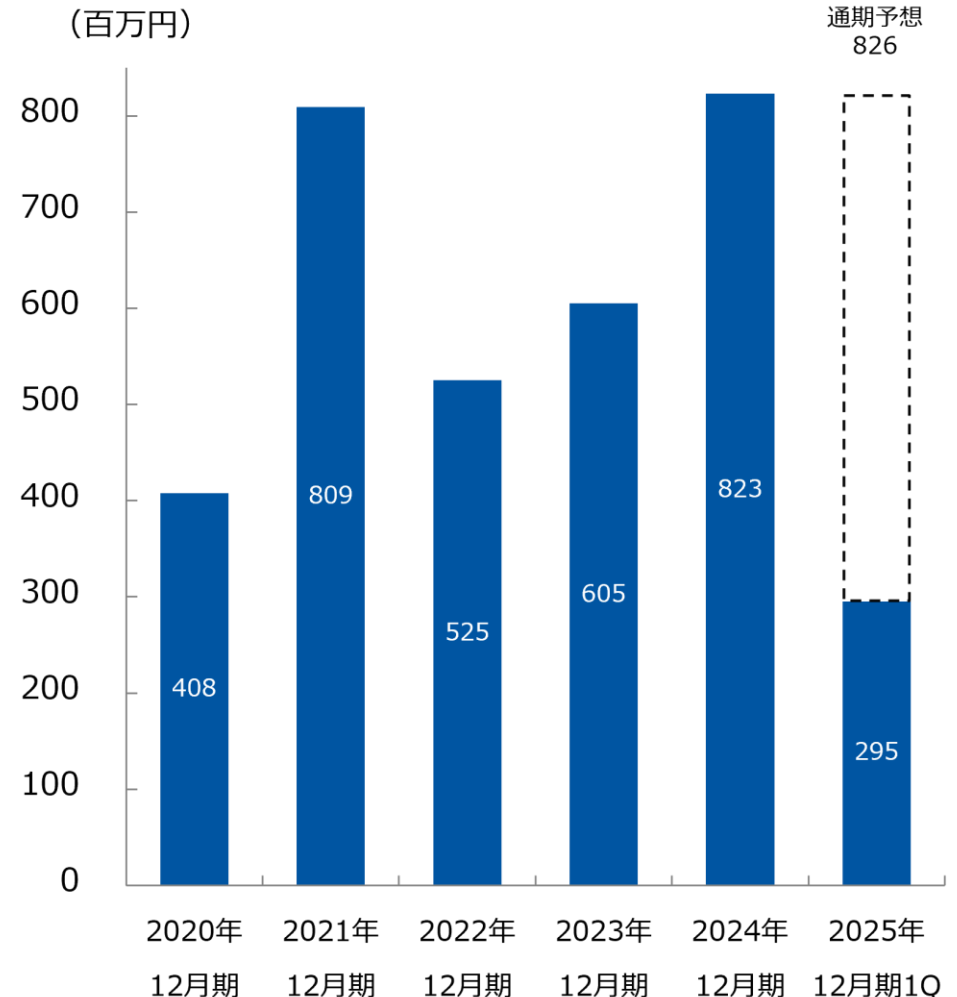
単位：百万円

	2024年 12月期1Q	売上比	2025年 12月期1Q	売上比	増減額	増減比
売上高	2,442		2,467		24	1.0%
営業利益	186	7.6%	291	11.8%	105	56.3%
経常利益	192	7.9%	295	12.0%	103	54.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	126	5.2%	259	10.5%	132	105.4%

売上高 (連結)



経常利益 (連結)

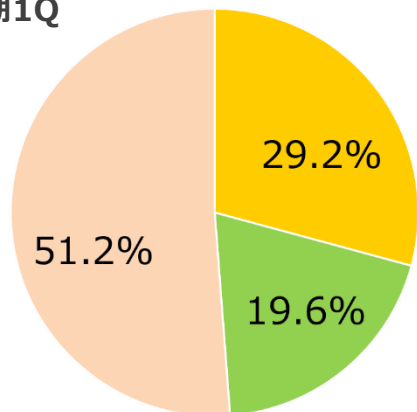


- ◆ 解体事業は大型案件の解体が進捗し伸長
- ◆ 環境事業の処理受託はスポット取引増加により増収、再生資源販売は価格上昇で増収
- ◆ 金属事業のスクラップ取扱量については、大型解体由来の加工が伸長、非鉄金属の相場上昇も追い風となる

単位：百万円

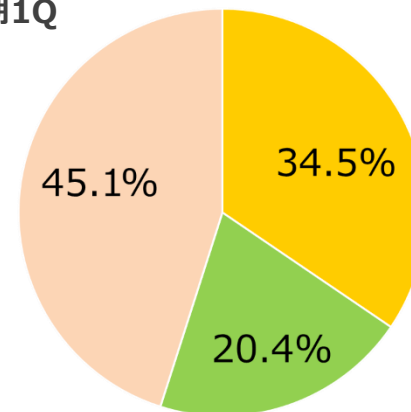
セグメント	2024年 12月期1Q	構成比	2025年 12月期1Q	構成比	増減額	増減比
解体事業	713	29.2%	851	34.5%	137	19.3%
環境事業	478	19.6%	504	20.4%	25	5.3%
金属事業	1,250	51.2%	1,112	45.1%	△ 138	△ 11.1%
合計	2,442	100.0%	2,467	100.0%	24	1.0%

2024年12月期1Q

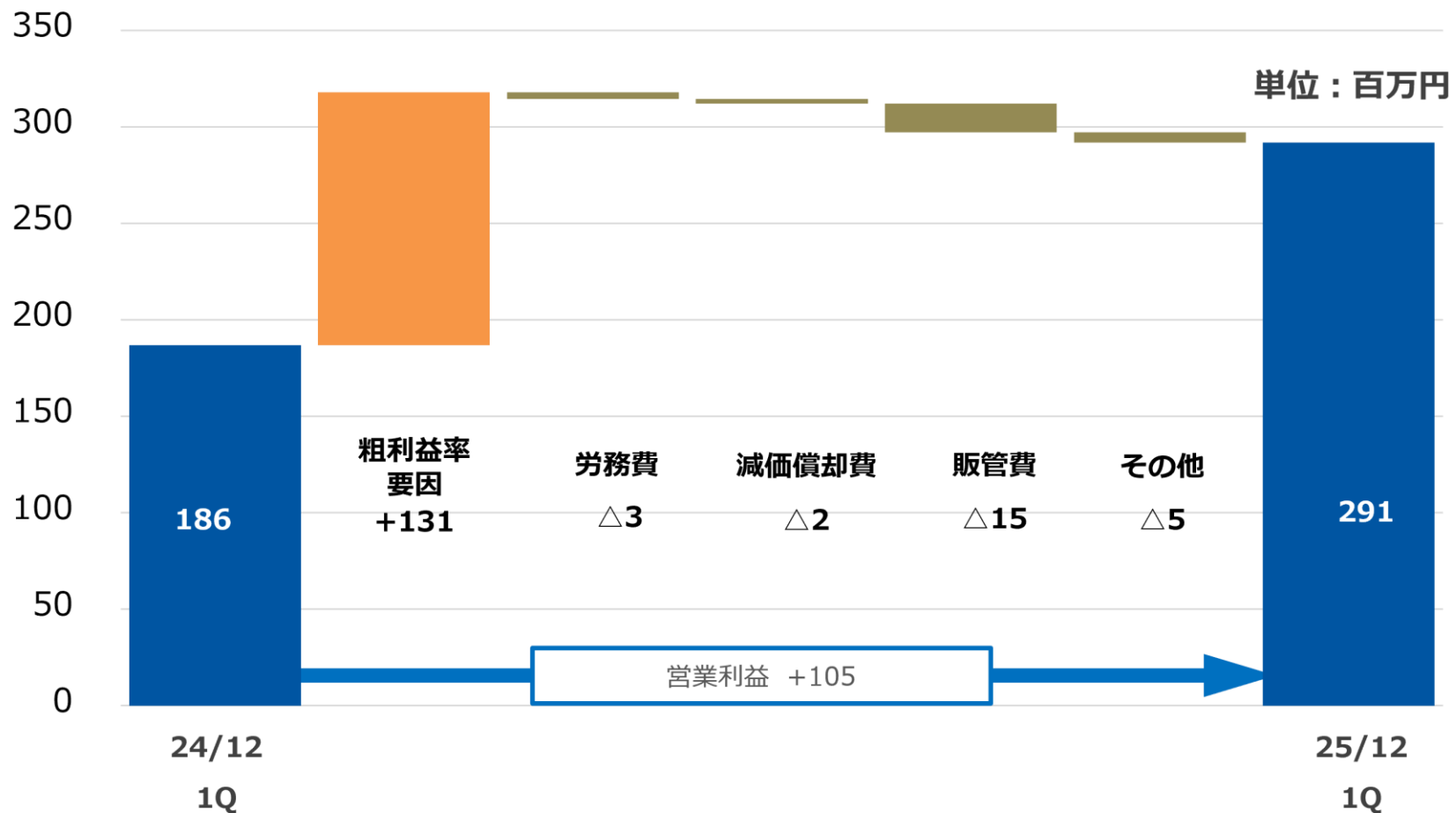


2025年12月期1Q

■ 解体事業
■ 環境事業
■ 金属事業



- ◆ 鉄スクラップ相場下落を解体事業の伸長、非鉄金属の相場上昇等によりカバー
- ◆ 廃棄物やスクラップの加工・選別を進め利益率が向上
- ◆ 従業員の増加により労務費と販管費が増加



連結貸借対照表



債権の増加と配当、(株)ミツエの子会社化により現金及び預金の残高は減少

(株)ミツエの子会社化、阪神地区での事業用土地取得により有形固定資産が増加 **単位：百万円**

	2024年 12月期末	構成比	2025年 12月1Q	構成比	増減額	増減比
流動資産	3,560	56.2%	3,525	53.9%	△ 34	△ 1.0%
現金及び預金	2,261	35.7%	1,858	28.4%	△ 402	△ 17.8%
受取手形、売掛金及び 契約資産(含完成工事未収入金)	1,093	17.2%	1,459	22.3%	366	33.5%
固定資産	2,776	43.8%	3,018	46.1%	242	8.7%
有形固定資産	2,131	33.6%	2,342	35.8%	210	9.9%
無形固定資産	34	0.5%	32	0.5%	△ 1	△ 5.9%
投資その他の資産	611	9.6%	644	9.8%	33	5.4%
流動負債	1,388	21.9%	1,301	19.9%	△ 87	△ 6.3%
買掛金	365	5.8%	404	6.2%	39	10.7%
工事未払金	168	2.7%	211	3.2%	42	25.6%
固定負債	414	6.5%	512	7.8%	98	23.7%
純資産	4,534	71.5%	4,730	72.3%	195	4.3%
株主資本	4,412	69.6%	4,572	69.9%	160	3.6%
総資産	6,337	100.0%	6,544	100.0%	207	3.3%

2025年12月期 通期業績予想について

連結損益の予想

単位：百万円

	2024年12月期	2025年12月期	増減額	増減比
売上高	9,656	10,500	844	8.7%
営業利益	798	800	2	0.3%
経常利益	823	826	3	0.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	520	557	37	7.1%

今後の見通しについて

- ◆ 2025年度は、国際的な通商交渉がもたらす混乱により、個人消費や企業による設備更新の需要が頭打ちになると想定するが、現在の通期予想に対する進捗状況や、受注状況等を勘案し、業績予想の変更は不要と判断
- ◆ 鉄スクラップ等の相場については、脱炭素を背景とした世界的な電炉への傾斜が予想されることから中長期的には上昇を予想。2024年度下期に鉄スクラップ相場の大幅な下げがあったが、2025年度は現在の水準を維持するものと想定
- ◆ 非鉄金属相場はここ数年上昇基調にあるが、25年はこれ以上の上昇は見込まない

株主還元

	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期 (予想)
1株あたり配当金	27.5円 (普通配当22.5円) (記念配当5.0円)	32.0円	32.0円

(利益配分に関する基本方針)

株主の皆様への安定配当を継続することを基本としつつ、将来の事業展開と財務体質の強化のために必要な内部留保の充実を勘案して配当を実施

今後の事業展開

イボキンの強みである、解体・環境・金属の3つの事業によるワンストップサービスを推進させるため、地域的な制限のない解体事業を成長エンジンとしつつ、環境・金属事業の事業地域を拡大するため、バランスよく資源を配分する方針

成長エンジン 解体事業

【メインテーマ】

大型案件への対応能力・信頼性の獲得

- ◆ 大型解体案件にかかる技術の開発と蓄積
 - ✓ 風力発電所解体事業の推進
 - ✓ 超大型解体用重機の追加導入
 - ✓ 提案力・ドキュメント能力向上
- ◆ 営業拠点の増設

安定した経営基盤 環境事業・金属事業

【メインテーマ】

事業エリアの拡大と営業企画部門の設置

- ◆ 事業領域の拡大（検討のスタート）
 - ✓ 営業拠点の増設
 - ✓ 新ヤードの確保
 - ✓ M&Aの積極推進
- ◆ 地元関西圏の解体案件の受注に注力する営業体制の強化

- ◆ 事業拡大を支える人材の確保と育成
- ◆ 先端技術への投資を活発化させ、リサイクル業の変革をリード
- ◆ 環境負荷の見える化及び低減を行い、取引先企業の情報ニーズへ対応



労働集約産業から
知識集約産業へ転換

環境・金属事業

大都市圏型のビジネス拡大

- ◆ 大都市圏型ビジネスが好調
- ◆ 阪神事業所の機能を強化
- ◆ 同事業所の機能拡大となる拠点を検討中

解体事業

東京支店・大阪支店の状況と今後の支店開設

- ◆ 東京支店にて大型案件の獲得実績が増加
- ◆ 大阪支店開設により顧客へのアクセス増
- ◆ 東京支店・大阪支店の増員を計画
- ◆ 他の都市での支店開設も視野に入れる

株式会社ミツエの子会社化

- ◆ 兵庫県内での施工体制強化
- ◆ 保有する大型重機の機動的な活用
- ◆ アスベスト除去工事の内製化

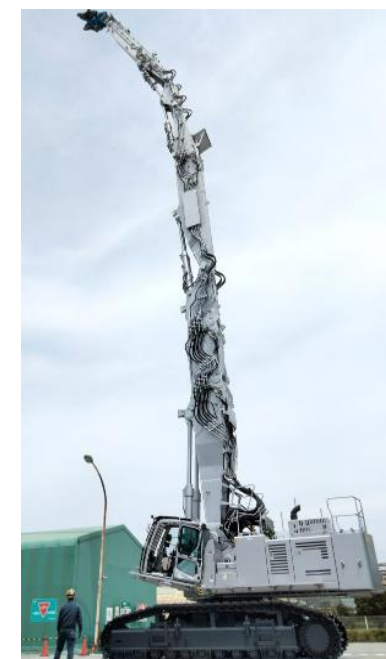


超大型建物解体専用機の追加導入

- ◆ 23年8月導入の1号機は想定を超える高い稼働率
- ◆ 案件の大型化に対応する必要性が高まる
- ◆ 2号機を今夏導入予定、1号機を上回る規模と性能

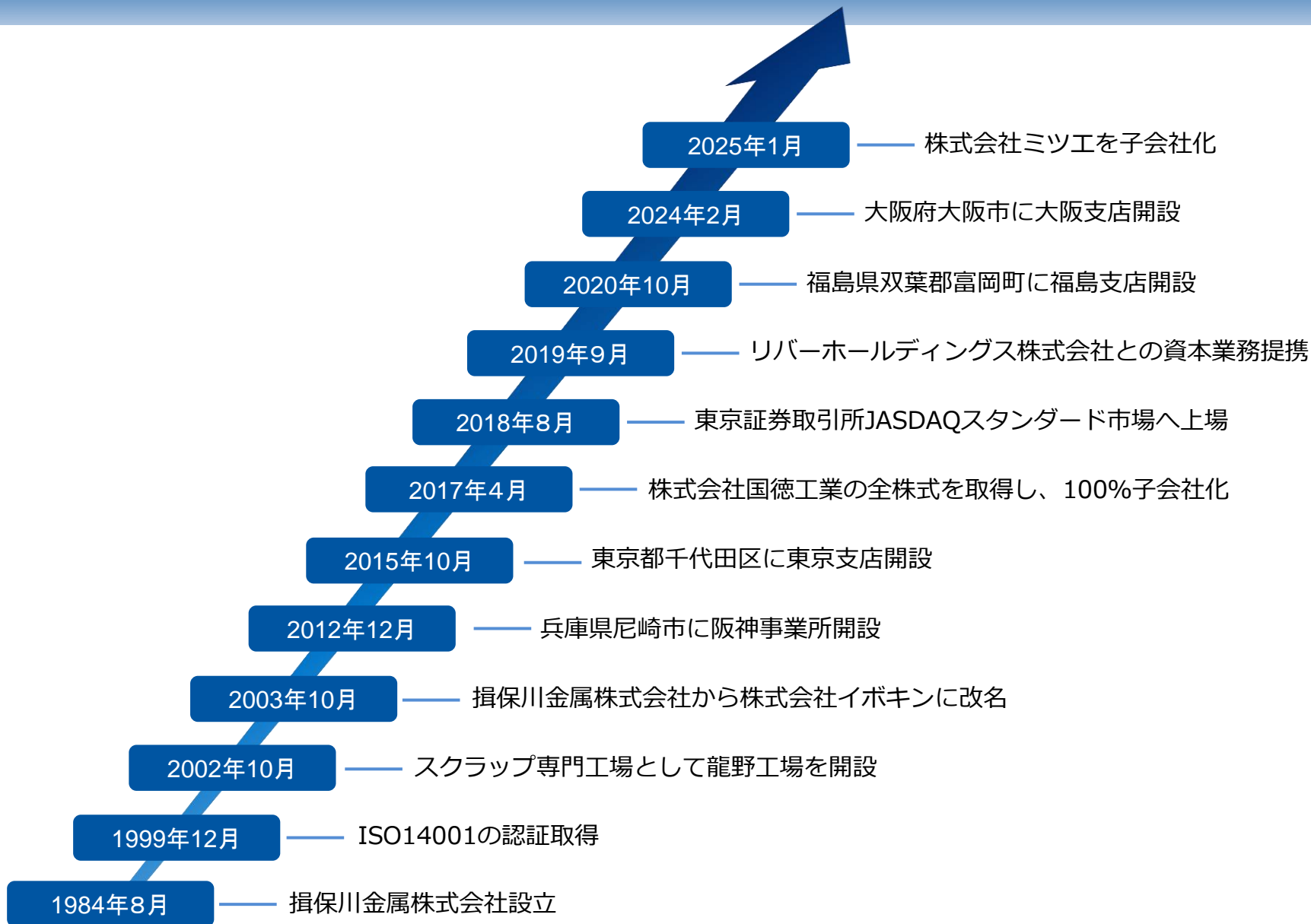
工事に伴うCO₂排出量等の算定

- ◆ 工事ごとのCO₂排出量を算定し顧客に提供
- ◆ 解体に伴う老廃屑のリサイクルによるCO₂の削減貢献量を算定し顧客に提供



APPENDIX

会社名	株式会社イボキン
代表取締役	高橋 克実
設立	1984年 8月
資本金	130,598千円 (2025年3月31日時点)
従業員数	175名 (連結 : 2025年3月31日時点)
所在地	本 社 : 兵庫県たつの市揖保川町正條379 工場・支店 : 本部ビル、本社工場、龍野工場、阪神事業所、東京支店、大阪支店 福島支店、PMR工場、最終処分場
事業内容	解体事業、環境事業及び金属事業による総合リサイクル事業
グループ企業	株式会社国徳工業、株式会社ミツエ



国内事業所

事業所所在地（国内事業所：5 営業所：5）

- 本部ビル及び本社工場
- 事業所及び営業所
- 子会社



本部ビル



最終処分場



PMR工場



本社工場



阪神事業所



福島支店



東京支店



大阪支店



龍野工場



(株)ミツエ



(株)国徳工業

3つの事業をワンストップで展開

解体事業

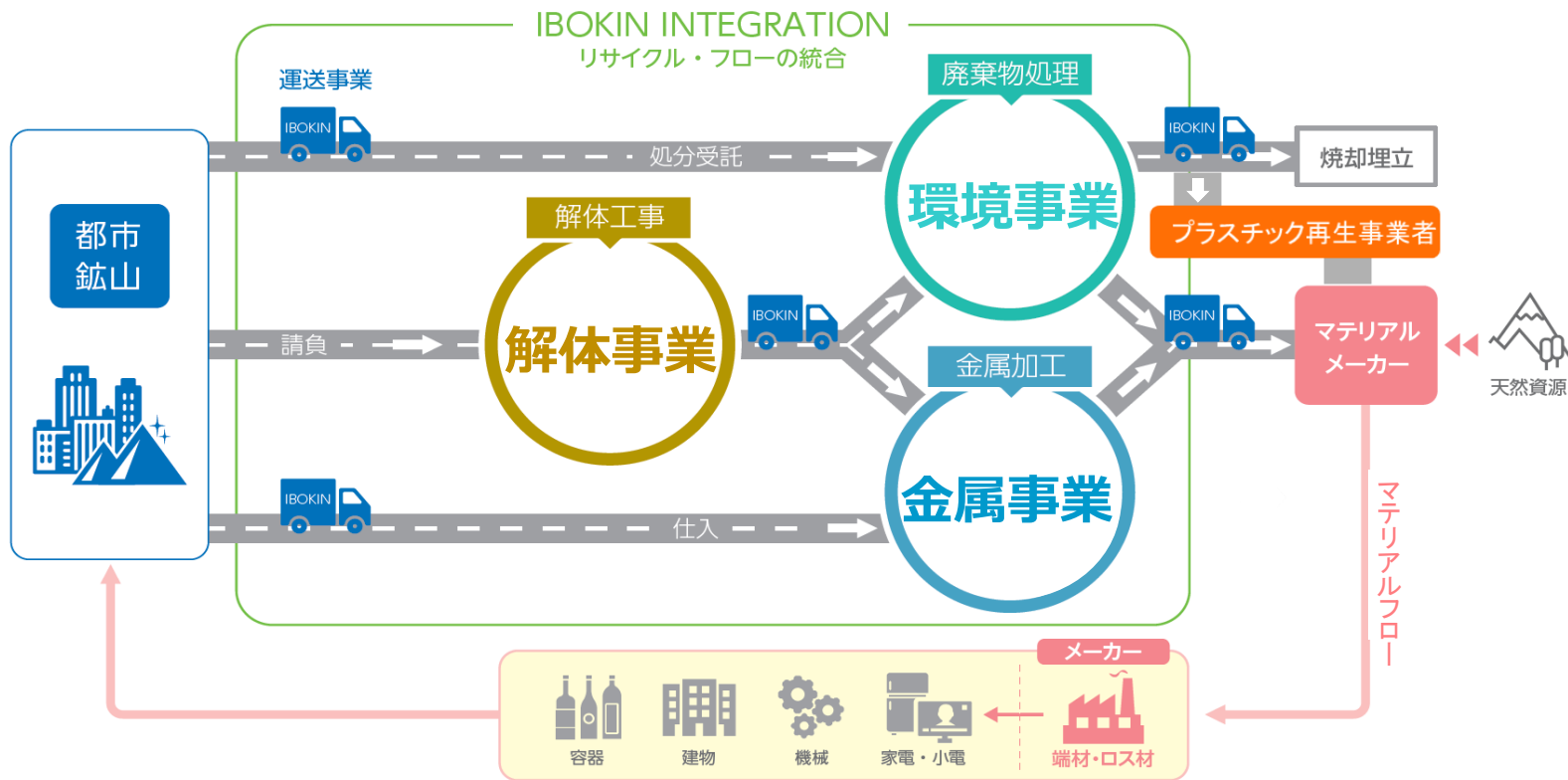
- ◆ 建築構造物やプラント・機械設備の解体・撤去工事

環境事業

- ◆ 木材・プラスチック等の分別・加工
- ◆ 再生資源の製造販売を含むリサイクル
- ◆ 産業廃棄物の収集運搬・中間処理・最終処分

金属事業

- ◆ 鉄・非鉄等の再生加工及び販売
- ◆ 使用済み自動車 (ELV:End of Life Vehicle) の解体による再生資源の販売



資源の一生に、夢と責任。



本資料における注意事項

本資料は投資家の参考に資するよう、弊社の現状を理解していただくために作成したものです。

本資料には、弊社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これら将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。

様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

投資を行う際には、ご自身の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。